

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	76	事務事業名 (中事業名)		いじめ・不登校等対策事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	02	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	322		事務開始年度		平成7年度		備考		
根拠法令等	西尾市いじめ・不登校・問題行動等対策協議会設置要綱						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	西尾市内の不登校児童・生徒を対象に生活への適応と自立を促すための助言や指導を行い、学校復帰を支援する。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内小中学校の不登校児童生徒
事業の概要 (具体的に何を)	児童生徒が学校復帰を目指すための定期的な相談活動、学力充実のための学習支援活動、他の子と交流し社会性を伸ばす行事・スポーツ・体験活動を適応教室(あゆみ学級)で行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	26,288,634円	1,955,360円	2,271,000円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	718,756円	726,645円	728,278円	
総事業費③(①+②)	27,007,390円	2,682,005円	2,999,278円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	27,007,390円	2,682,005円	2,999,278円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-24,325,385円	R2 総事業費③の対前年度比率	-90.07%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	事業の大幅な組み換えを行ったため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額
	あゆみ学級運営費	通信運搬費		1,200,476円
	あゆみ学級運営費	あゆみ学級消耗品(事務費、図書費等)		240,937円
	委託料	いじめ問題対策連絡協議会事業		418,000円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	不登校児童生徒数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	350	人	350	人	350	人
	実績値	342	人	370	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	いじめ及び不登校に関する相談件数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	400	件	400	件	400	件
	実績値④	430	件	432	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	62,808円	6,208円		*****			

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	不登校傾向にある子どもは、近年増えていることから、こうした対応は教育委員会として必要不可欠であるため終了時期は未定である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	いじめや不登校は、常に発生するもので、子どもを守るために必要不可欠なものである。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	個人状況の把握等が必要な内容で常日頃から学校生活に密接しているため民間委託はできない。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託はできない事業内容であるため民間委託または市民協働拡大は考えていない。					
事業全体の課題	いじめ、不登校の原因解明の一つとして「教育の原点は家庭にあり」の考えに立ち返り、家庭と学校で連携しながら、それぞれがすべきことを明確にし、学校復帰へのきっかけを探っていくことが必要である。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市でも近年同じ問題を抱えており、各市適応指導教室を開設し対応している。
---------------	---------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	通室児童生徒数の増加により、一人ひとりの子どもたちに対応する支援員数や部屋数が不足している。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	支援員の増員と適応指導教室の増設または教室数の増加。
--------	----------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	77	事務事業名 (中事業名)		中学生海外派遣等事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	07	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321		事務開始年度		昭和61年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市内中学生の国際理解を深め、国際的な視野を広げることをねらいとする。
事業の対象 (誰(何)のために)	派遣団は中学2年生20名(引率教諭4名)。参加する生徒だけでなく、事前研修会や報告会を設けることで、国際理解教育推進、国際感覚をもった全生徒の人材育成をねらいとする。
事業の概要 (具体的に何を)	旧西尾市においては、昭和61年度より実施され、合併後は令和元年度まで実施していた(2年度は中止)。派遣先は、シンガポール・マレーシアであり、ホームステイや現地の学校訪問、大学生との市内見学等を行っていた。

●事業費の内訳【DO】

項目		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
事業費①		6,120,849円	0円	0円
事業にかかる人工		0.05人	0.00人	0.00人
事業にかかる人件費②		359,378円	0円	0円
総事業費③(①+②)		6,480,227円	0円	0円
総財源業内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	5,742,767円	0円	0円
	その他 負担金	737,460円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額		-6,480,227円	R2 総事業費③の対前年度比率 0.00%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。令和3年度は事業廃止。		
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	参加人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	20	人	0	人		人
	実績値	20	人	0	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	応募人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	100	人	0	人		人
	実績値④	91	人	0	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		71,211円	0円		*****		

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	海外派遣事業引率
事業の終了時期	令和2年	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	
事業の終了時期が未定の場合の理由			

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			○	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		令和2年度はコロナ感染症防止のため中止とした。				
事業の方向性	(評価)	5 今後は、民営化か事業を廃止する				
	(理由)	より多くの児童、生徒に、国際理解を深める経験をさせたい。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	ALT (外国語指導助手) の各校への派遣、教材提供、教員研修への派遣を委託している(株)アルティアセントラルに代替事業としてイングリッシュキャンプ事業を委託する。					
事業全体の課題	より多くの児童、生徒に、国際理解を深める経験をさせたい。コロナ感染症防止対策の徹底。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	海外派遣事業については、継続の市が多い。取りやめた市(K市)もある。イングリッシュキャンプを市独自で行う自治体も出てきた。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	より多くの児童、生徒に、国際理解を深める経験をさせたい。
-----------------	------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	令和3年度より、小・中学生対象のイングリッシュキャンプ事業を立ち上げた。
--------	--------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	78	事務事業名 (中事業名)		体育・文化発表会開催事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	10	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321		事務開始年度		昭和37年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	小中学校の体育大会の開催や、市内の児童・生徒が、思考を凝らした美術作品やミュージカルを制作し、互いに鑑賞することで、豊かな情操を養う。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内の児童生徒
事業の概要 (具体的に何を)	児童生徒を対象とし、美術作品展やミュージカルを隔年で西尾文化会館を拠点として開催している。市内の教員に事業運営を委託し、各学校の専門教員が中心となり、図画工作・美術の授業等で制作した作品展示(H30)や、ミュージカル(H29・R1)を企画・演出し発表をすることにより、豊かな心や感性を育む。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	9,302,562円	0円	0円	
事業にかかる人工	0.05人	0.00人	0.00人	
事業にかかる人件費②	359,378円	0円	0円	
総事業費③(①+②)	9,661,940円	0円	0円	
総財源業内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	9,661,940円	0円	0円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-9,661,940円	R2 総事業費③の対前年度比率	0.00%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	令和2年度より事業廃止のため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	参加児童・生徒数(ミュージカルと美術作品展隔年実施)					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	750	人	0	人		人
	実績値	750	人	0	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	従事する教員等の人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	50	人	0	人		人
	実績値④	50	人	0	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		193,239円		0円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	教育研究会に事業を委託
事業の終了時期	令和元年	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和元年
事業の終了時期が未定の場合の理由			

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		—	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	—
	国・県・市・民間との役割は適切か		—		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	—
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		—		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	—
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		—		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか		—	公平性	受益者に偏りはないか	—
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		—		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	—
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		—		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか		—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	—
評価の総合的なコメント						
事業の方向性	(評価)	5 今後は、民営化か事業を廃止する				
	(理由)	各中学校区の文化祭や地域の行事と連携するなど各学校で工夫していく。また、教職員の業務の負担軽減にもつながる。(令和2年度より事業廃止)				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事業全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	全市の小中学生の作品を一か所に集めている市は少ない。中学校区での開催は行われている。ミュージカル形式の音楽会はほぼない。合唱や吹奏楽をメインとした音楽会は多くの市が行っている。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	令和2年度より事業廃止
--------	-------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	79	事務事業名 (中事業名)		サタデープラン推進事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	12	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321		事務開始年度		平成14年度		備考		
根拠法令等	サタデープラン運営協議会設置要綱						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	完全学校週5日制の下、地域で子どもを育てる環境の充実とスポーツ活動、文化・芸能活動、ボランティア活動等を通して、児童生徒の健全育成を図るため。
事業の対象 (誰(何)のために)	地域で子供を育てる環境を充実させることと西尾市の子供たちのため。
事業の概要 (具体的に何を)	平成14年度からの完全学校週5日制に伴い、子どもを中心とする地域の教育的課題に対応し、地域で子どもを育てる環境を充実させるため、地域の教育力の活性化に向けた推進体制を整備するとともに、土日を利用して子どもたちに対し、スポーツ活動、文化・芸能活動、ボランティア活動等を通じた健全育成を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	3,567,940円	2,979,940円	3,566,000円	
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人	
事業にかかる人件費②	359,378円	363,323円	364,139円	
総事業費③(①+②)	3,927,318円	3,343,263円	3,930,139円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,727,318円	3,143,263円	3,730,139円
	その他 教育振興基金繰入金	200,000円	200,000円	200,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-584,055円	R2 総事業費③の対前年度比率	-14.87%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため事業縮小			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	教室配分費	サタデープラン 68教室	1,924,000円	
	情報誌発行	年2回の情報誌発行	631,000円	
	保険料	児童生徒指導者保険料	297,880円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	サタデープラン参加児童生徒数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	2,308	人	2,300	人	2,300	人
	実績値	2,308	人	1,632	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	サタデープラン開設教室数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	76	教室	77	教室	76	教室
	実績値④	73	教室	68	教室	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	53,799円	49,166円		*****			

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	講座の開設及び指導
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	各教室は子どもを中心とする地域の教育的課題に対応し、地域で子どもを育てる環境を充実させるために必要であり事業終了は未定である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	△
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	△
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	△
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	西尾市独自の事業であり、子供たちの健全育成が見込まれる。令和2年度は募集人員の縮小、コロナ禍で教室の一部休止のため、1632人の児童生徒と68講座の開設となった。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	地域で子供たちを育てるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	生涯学習課、スポーツ振興課が主管となっている各種講座と統合して一本化してもよいのではないか。					
事業全体の課題	新たな教室の開設に向け、地域の先生方を新たに集める方法や新しいジャンルの先生方を見つけること。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣の市町で、同類事業を行っている情報は入っていない。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	生涯学習課、スポーツ振興課と連携して、各種講座の統合に向けて、協議を始める。
--------	--